

高速バスを活用した農産物の輸送開始について ～エリア拡大による地方創生への貢献～

- この度、地域活性化物流有限責任事業組合は、高速バスを活用して、株式会社 JRとまとランドいわきファームで生産された“トマト”の輸送をスタートします。
- また、4月1日から新たに JR東日本グループ関連会社2社（ジェイアールバス関東株式会社、ジェイアールバステック株式会社）を構成員に追加しました。

1. 株式会社 JRとまとランドいわきファームで生産されたトマトの輸送を開始

地産品の物流を行う「地域活性化物流 LLP」の仕組みを活用する商品として、株式会社 JRとまとランドいわきファームで生産された“トマト”の輸送を開始します。

○生産者 株式会社 JRとまとランドいわきファーム

○輸送日 2018年4月3日（火）から毎週火曜日・木曜日・土曜日の週3回

※輸送するトマトは、日本ホテル株式会社ホテルメトロポリタン丸の内 27F Dining & Bar「TENQOO」にて朝食及び昼食に使用されます。

“トマト”が店頭で並ぶまで



生産者（株）JRとまとランドいわきファームがジェイアールバス関東（株）いわき支店に持ち込み。15:36発の東京駅行きバスに積載し出発。



朝食・昼食時間帯にご提供。



東京駅日本橋口に到着。ホテルメトロポリタン丸の内27階 Dining & Bar「TENQOO」へ納品。



2. 地域活性化物流 L L P（有限責任事業組合）の体制変更

J R 東日本グループが進める地域活性化プロジェクトを推進するため、物流面で中小生産者を支援することを目的に設立された L L P（有限責任事業組合）に、新たに J R 東日本グループ関連会社 2 社が加わりま

【変更前】

名称	地域活性化物流 L L P（有限責任事業組合）	
構成員と各社の役割	株式会社ジェイアール東日本物流	首都圏拠点における貨物の仕分業務、店舗配送、発送業務及びそれに附帯する業務
	ジェイアールバス東北株式会社	地方拠点と首都圏拠点間の輸送業務及びそれに附帯する業務
	東北鉄道運輸株式会社	
出資金	2,000 千円	
設立日	2016 年 4 月 1 日（金）	

【変更後】

名称	地域活性化物流 L L P（有限責任事業組合）	
構成員と各社の役割	株式会社ジェイアール東日本物流	首都圏拠点における貨物の仕分業務、店舗配送、発送業務及びそれに附帯する業務
	ジェイアールバス東北株式会社	地方拠点と首都圏拠点間の輸送業務及びそれに附帯する業務
	東北鉄道運輸株式会社	
	★ジェイアールバス関東株式会社	
	★ジェイアールバステック株式会社	
出資金	3,000 千円	
変更日	2018 年 4 月 1 日（日）	

今後も J R 東日本グループでは、地産品マーケットの拡大を通じて、お客さまの身近な場所で地域の魅力の発信を行い、地域と首都圏における「ヒト」と「モノ」の循環を図ることで、地方創生に貢献してまいります。

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、J R 記者クラブ、レジャー記者クラブにお届けしております。

【お問合せ先】
 地域活性化物流 L L P 運営事務局
 株式会社ジェイアール東日本物流 営業部企画グループ（担当：齋藤）
 TEL 03-3829-5122

【別紙】

地域活性化物流有限責任事業組合は、新たに参加した構成員の持つ既存の輸送・物流インフラを繋げることで、低コストでリードタイムの短い輸送体制を構築し更なる地方創生に貢献してまいります。

《地域活性化物流 L L P 事業フロー図》

